

都政新報

発行所 都政新報社

〒160-0023 東京都新宿区
西新宿7-23-1 T Sビル

(総務・読者) 03-5330-8781

(企画広告) 03-5330-8784

(編集) 03-5330-8786

(制作) 03-5330-8786

(出版) 03-5330-8788

(ファクス) 03-5330-8808

購読料 月1,680円(税込)

毎週火・金曜日発行

ただし、祝日は休刊

©都政新報社 2012

号外

詳しくは18日付の都政新報で

都知事選開票

猪瀬氏 当選 確実

宇都宮氏ら破り初当選



当選確実となり、テレビ局の質問に応じる猪瀬氏＝16日午後8時すぎ

16日に行われた都知事選挙は、午後8時に投票が締め切られ、作家で前副知事の猪瀬直樹氏(66)が当選確実となった。

新人同士で争う都知事選は13年ぶり。衆院選と同日選挙となり、投票率は午後6時現在で44・57%と、前回よりも2・11ポイント上昇した。60%台に達すれば1975年以来38年ぶりとなる。

猪瀬氏は、任期半ばで辞任した石原前知事の後継指名を受け、11月21日に「都民の安全・安心を守るために、日本の国そのものを東京から支えていくために重責を自ら担っていく決心をした」と出馬を表明。政党からは自民、公明、維新の支持を得て、序盤から候補をリードし、盤石の選挙戦を展開。圧勝となる見通しだ。

これまでの都知事選では、71年に美濃部亮吉氏が再選で獲得した36万票が最多で、日本の選挙史上、個人最多記録となっているが、猪瀬氏の得票は300万票を超える勢いで、新人候補としては過去最多となる見通し。

同日午後8時すぎに、当選確実となった猪瀬氏は西新宿の選挙事務所ですべて「都民の声は早く改革をやれ、スピードアップしろと叱咤激励の声だ

と思う。やらなければやらない課題、やりかけているものをさらにやり、東京を一人ひとりが輝く都市にしたい。改革を求めているということとは、東京が日本沈没を防がなければいけないということ。霞が関の縦割りの官僚機構を東京モデルを作って変えていく。何をすればいいのか、よく分かっているので、やるべきことは必ずやる。ブレないでやるのが一番大事だ」と語った。

猪瀬氏は18日に初登壇し、都議会会派回りや幹部職員へのあいさつ、初庁議、記者会見などを予定している。

猪瀬氏は46年生まれ、長野県出身。信州大学卒、明治大学大学院政治学専攻博士前期課程修了。87年に『ミカドの肖像』で大宅壮一ノンフィクション賞を受賞。小泉政権下では道路関係4公団民営化推進委員会委員を務めた。石原知事に請われ、07年6月に都副知事に就任し、地下鉄一元化や東電改革、天然ガス発電所建設などに携わってきた。

都政新報購読
お申し込みは
03-5330-8781

都政新報電子版 www.tosei-d.com に今すぐアクセス